

第79回 通常総会 藏内会長挨拶

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫



第79回通常総会に当たり、全国の地方獣医師会の代表者の皆様方には、コロナ禍の中、ご来場、またWEBでのご出席を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、いまだ予断を許さない状況にあります。申すまでもありませんが、皆様におかれましても、感染防御対策に配慮した行動、会務運営をお願いいたします。

このような状況の中で、第79回を迎えた本日の総会も感染防御を第一に考え、WEB併用の開催とさせていただきました。本会の総会も一昨年は書面開催、昨年にご来賓の皆様のご来場をご遠慮いただいたところでしたが、本年度は3年ぶりにご来賓の皆様にお越しいただきました。

国会からは、自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長 衆議院議員 森 英介先生、公明党獣医師・動物看護師議員懇話会会長 衆議院議員 古屋範子先生、公明党衆議院議員 河西宏一先生にご臨席をいただいております。後ほど、自由民主党参議院議員 自見はなこ先生もお見えになる予定でございます。

関係省庁からは、農林水産省消費・安全局長 小川良介様、環境省自然環境局長 奥田直久様、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全衛生審議官 武井貞治様、文部科学省大臣官房審議官 里見朋香様にご出席いただきました。

団体からは、日本医師会 中川俊男会長にご出席をいただいております。

さて、このたび、私ども日本獣医師会の顧問であります酒井健夫先生が日本大学の学長に就任されるご予定と伺いました。誠におめでとうございます。酒井先生におかれましては、引き続き私ども日本獣医師会にご指導賜りますようお願い申し上げます。

本日はこのほかにも多くの関係者の方々にご出席を賜りました。日頃の私ども日本獣医師会に対するご厚情に、心から厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、日本獣医師会はコロナ禍を経て、大きく変革する社会情勢を見据えつつ、地方獣医師会のご理解とご協力を得ながら、諸課題の解決に向けて活動を続けております。

麻生太郎自由民主党獣医師問題議員連盟会長、古屋範子公明党獣医師・動物看護師議員懇話会会長はじめ、国会議員の先生方のご尽力により、議員立法で実現いただきました動物愛護管理法の改正、愛玩動物看護師法の新規制定に係る対応は、私どもにとって、今最も重要な課題だと考えております。

特に、改正動物愛護管理法における販売用犬猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化と狂犬病予防事業とのワンストップサービスにつきましては、本会が指定登録機関として、地方獣医師会及び会員構成獣医師と十分な連携、協力の下に、マイクロチップ登録事業を円滑に実施できるよう、現在も環境省と継続的に協議を行っているところでございます。

先般、特別に全国獣医師会会長会議を開催いただきました。さまざまな意見がある中、私ども日本獣医師会の進むべき方向を示していただきました。埼玉県獣医師会の高橋会長には議長、和歌山県獣医師会の玉井会長には副議長として、大変御苦勞をおかけしました。心から感謝を申し上げます。

現在、課題となっておりますマイクロチップの新たな法定登録制度の仕組みと運用につきましては、獣医

師会組織を挙げて国民に貢献できるものにするとともに、地方獣医師会、会員構成獣医師にとっても有用な事業となるよう、取り組んでまいります。引き続き、国会議員の先生方、関係省庁の皆様方にはよろしくご支援、ご指導の程お願い申し上げます。

さらに、愛玩動物看護師法の対応につきましても、獣医師と愛玩動物看護師の適切な役割分担と連携によるチーム獣医療の提供体制の確立など、本会の役割をしっかりと踏まえた施策運営に努める所存です。

いずれにいたしましても、日本獣医師会と地方獣医師会が一体となって、獣医師に対する社会的要請に応えつつ、国民全体の利益の向上に資するよう、尽力してまいりますので、本日、ご出席の皆様方におかれましても、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

現在、われわれは新型コロナウイルス感染症を経験し、ポストコロナ対策として、人と動物の健康と環境の保全を一体的に捉えて対処するワンヘルスの普及と実践が世界で注目されることになりました。ワンヘルスの推進に向けた諸課題につきましては、日本医師会との連携を一層強化し、農林水産省、厚生労働省をはじめ、関係省庁のご指導、ご協力を賜りながら、連携シンポジウムの開催など、関係者間の情報共有に努めてまいりました。

国におきましても、先の国会の予算委員会における自見はなこ参議院議員の質問に、岸田総理はワンヘルスの重要性に言及をされ、感染症危機管理庁の設立を表明されました。これは、長年にわたる、私どもと日本医師会で要望を続けてきた課題でございます。

このような中、本年11月に福岡で開催されます第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会では、私がFAVA会長に就任をし、大会のテーマを「アジアからのワンヘルスアプローチ」として開催いたします。本大会はポストコロナ時代の幕開けとして、日常生活や経済活動の再出発を期す、記念すべき国際大会として、獣医師がワンヘルス実践の取組をアジアから世界に広く発信する機会になるものと考えております。

また、本大会では第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）も同時開催され、会員構成獣医師の皆様が3年ぶりに旧交を温める機会ともなりますので、多くの皆様の参加をお願いいたします。

最後になりますが、本日の総会においては、昨年度の事業報告及び決算、さらに本年度の予算及び事業計画等、重要な議案を上程しております。ご出席の皆様には忌憚のないご意見をいただき、今後の日本獣医師会の活動を一層活発で意義あるものとしていただきたいと考えておりますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。